

日本知財学会第7回年次学術研究発表会 一般発表のご案内(発表者、発表者所属、テーマ、連名発表者)

6月14日(日)
※発表の詳細、会場地図については後項をご確認ください

場所	大岡山西2号館					大岡山西3号館					大岡山西9号館																																																																																																																																					
教室	W241	W331	W321	W322	W323	W351	W932	W933	W934	W935	W932	W933	W934	W935																																																																																																																																		
座長	生越 由美					松原 幸夫					山本 貴史																																																																																																																																					
カテゴリー	知財制度論					知財教育・人材育成					産学連携及び新規事業					知財に関する国際問題					先端技術と知財問題					知財会計・評価と経営問題					知的財産の新領域					知財・技術情報の戦略的活用と管理					知財・技術情報の戦略的活用と管理																																																																																																							
12.40	日本弁理士会/アジア知財・イノベーション分科会合同セッション 14:40終了予定	2B1<インテンシブ> 滝田 清輝 IP国際技術特許事務所 知的財産訴訟に市民参加制度を	2C1 渡部 仁 特許国際特許事務所、日本弁理士会 著作権委員会所属 出版権設定契約およびその留意点について	2D1 劉 雨婷 早稲田大学環境エネルギー研究科 中国のバイオ知財データベースの現状と製薬企業・病院間ネットワークの導入	2E1 加藤 浩 日本大学法学部 生物多様性条約と特許法に関する分野別分析	2F1 大久保 公策 国立遺伝学研究所 インターネット時代の公的科学的知財戦略	2G1 齋藤 旬 株式会社ニコン コアテクノロジーセンター 東京大学 先端科学技術研究センター 「事後の報償金」でなく「事前のProfits Interest」利益分掌」で、相当の対価問題に對し、Open Innovationを推進する米国の知財マネジメント	2H1 妹尾 堅一郎 東京大学 大学における共同研究契約と特許出願の傾向分析-研究契約、技術分野との関係について- 東北大学の事例より-	2I1 高橋 真木子 東北大学工学研究科 カラツツ・レネ、塩谷克彦	2J1 吉田 かねる 京都大学大学院医学研究科 幹細胞関連技術特許の外国出願状況に関する調査研究	13.00	2C2 村松 浩幸 信州大学教育学部 創造性モデルに基づく技術科教育における知的財産学習の方向性	2D2 菊池 純一 青山学院大学大学院ビジネス法務 新しいタイプのオープンイノベーション・スキームの有効性-水浄化技術の国際移転のケース-	2E2 吉川 智明 東京理科大学 専門職大学院 知的財産戦略専攻 日本における中国系企業の知財活動の現状	2F2 鈴木 睦昭 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 リサーチ・ツール流通円滑化のためのMTAの運営最適化に関する研究	2G2 齋藤 麻由子 青山学院大学大学院法学研究科 改正特許法第35条における「相当の対価」の算出方法の正当性についての検証	2H2 妹尾 堅一郎 東京大学 ビジネスモデルと知財マネジメント-その公表パターンを考察する-	2I2 川北 忠 国立大学法人 三重大学 大学の知的財産-特許調査	2J2 早乙女 周子 京都大学 大学院医学研究科 大学における特許出願と公表のマネジメント	13.20	2B3 馬場 鎌成 東京理科大学 専門職大学院 知的財産戦略専攻 画期的な発明を生かすことができない日本社会	2C3 若林 昌子 知的財産教育協会 知財スキル修得における業務経験の効果	2D3<インテンシブ> 西尾 好司 株式会社 富士通総研 日本の産学間の組織連携に関する研究	2E3 周 佳 東京理科大学 専門職大学院 知的財産戦略専攻 中国特許法の改正とその改正を受けて日本企業の中国での知財戦略について	2F3 山本 祥子 東京理科大学 専門職大学院総合科学技術経営研究科 バイオジェネリック薬と日欧特許法に関する一考察	2G3 星野 豊 筑波大学大学院人文社会科学部 知的財産の法的価値算定に関する一考察	2H3 平野 修介 東北大学大学院工学研究科 技術指向型中小企業における知的財産戦略とその有効性に関する研究	2I3 川北 忠 国立大学法人 三重大学 大学の知的財産-出願戦略	2J3 渡邊 道 富士ゼロックス株式会社 特許分析を利用した新規技術に係る製品化行動のキャラクタライズ	13.40	2C4 川原 英昭 大阪工業大学 知的財産学部 見出し付き箇条書き法文書の作成及び法文書の正確性	2D4 後藤 陽子 地域の中企業の特許出願分析から連携方法の提案「川崎市を主体にした検討」	2E4 中岡 延之 北京徳琦知財代理有限公司 中国における商標権侵害の危険性の増加と日本企業への事前対策の提案	2F4 永井 武 東京理科大学専門職大学院 知的財産戦略専攻 中小・ベンチャー及びカーブアウト企業における知的財産権を活用した資金調達	2G4 小野 征彦 弁護士 ロクタク知財高裁判決の分析	2H4 小野 征彦 弁護士 債権分析を用いたR&Dアクティビティの定量化	2I4 中村 達生 株式会社創知 ゲームソフトのリバースエンジニアリングと追及権	2J4 園城 倫子 北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科 「サービス」アプローチによる大学発先端技術の特許流通モデルの提案	14.10	日本弁理士会/アジア知財・イノベーション分科会合同セッション 14:40終了予定	2B5 青山 絢一 帝京大学法学部 最近の職務発明訴訟における問題点	2C5 中野 輝良 岐阜県立大垣養老高等学校 食品科学科(前道真風立食品工業高等学校 食品科学科) 農業高校における知的財産教育の実践	2D5 角南 英八郎 (有)知財情報研究所 地域の中小企業の特許出願分析から連携方法の提案「川崎市を主体にした検討」	2E5 鈴木 茂啓 東京理科大学専門職大学院 知的財産戦略専攻 EuPI(電気・電子機器の環境配慮設計)と環境分野における新たなコモンスの悲劇	2F5 小合 宗一 日本弁理士会平成20年度バイオ委員会 幹細胞関連特許の審査に関する日米欧の三極比較研究	2G5 北村 光司 北村光司特許事務所 知財活用会議「ハートツ」を通じて知財の評価及びコンサルティング	2H5 阿部 仁 東北大学 大学院工学研究科 技術社会システム専攻 適合性フィードバック技術に改良を加えた特許公開検索技術の新規開発	2I5 神谷 英昭 岐阜大学 産官学融合本部 大学教員が係わる著作権判例について	2J5 宮本 和敏 シナノケンシ 株式会社 特許情報から推測できる革新的商品の上市時期-出現サイクル則	14.30	2B6 青山 絢一 帝京大学法学部 営業秘密的保護法制改悪問題の検証	2C6 陳内 秀樹 長崎県立島原農業高等学校 農業高校における体験的学習を基にした知財教育の実践	2D6 伊藤 寿 日本技術貿易株式会社IP総研 日本・米国・中国の大学における特許権利化の現状と傾向	2E6 小林 徹 株式会社三菱総合研究所 主要グローバル企業における国際的意匠権出願戦略の分析	2F6 石笠 正徳 日本弁理士会バイオ・ライフサイエンス委員会 日本のバイオ・ライフサイエンス産業の国際的競争力の特許面からの調査-研究II- ~ES/IPS細胞技術と特許~	2G6 小出 篤史 筑波大学 大学院システム情報工学研究科 コンピュータソフトウェアを利用した国際課税の一考察	2H6<インテンシブ> 生越 由美 東京理科大学 専門職大学院 文化産業におけるデジタルコンテンツの意義	2I6 茂木 裕美 青山学院大学大学院法学研究科 ゲームソフトのリバースエンジニアリングと追及権	2J6 小田 哲明 大阪大学 工学研究科 引用関係のネットワークを用いた特許分析フレームワーク	14.50	2B7 安田 和史 知財研究会IP Lounge & 東京理科大学専門職大学院 営業秘密の法的保護と刑事罰強化	2C7 内藤 善文 愛媛県立今治工業高等学校 工業高校における創造性学習のための知財教育の実践	2D7 森 康晃 早稲田大学創造理工学部 デジタル音楽コンテンツビジネスの知財権利構造と将来の課題(通信カラオケの成功事例のケーススタディ)	2E7<インテンシブ> 井出 明 首都大学東京大学院都市環境科学部 知的財産の備えがもたらす「人間の安全保障」への影響	2F7 梅田 慎介 日本弁理士会バイオ・ライフサイエンス委員会 日本のバイオ・ライフサイエンス産業の国際的競争力の特許面からの調査-研究II- ~ES細胞基本特許について~	2G7 高宮 周一 富士フィルム株式会社 知財技術部 特許ポートフォリオ構築のための投資額を算出する知財価値評価の新しい考え	2H7 高宮 周一 富士フィルム株式会社 知財技術部 企業内の技術情報における共有化に關しての一考察	2I7 足立 新一 東京理科大学知財専門職大学院 既存市場への第三者新規参入に對した予防特許マネジメントに関する研究	2J7 福田 雄一 東北大学 大学院工学研究科 後期3年の課程 長平彰夫	15.10	2B8<インテンシブ> 城所 岩生 国際大学グローバル・コミュニケーション・センター アメリカにおけるフェアユースの実情と日本への導入	2C8 木村 友久 山口大学 大学院技術経営研究科 特許検索システムへの有償情報フィルタリングに関する考察	2D8 名取 隆 立命館大学大学院 研究開発型中小企業による新製品事業化の成功要因	2E8 加藤 浩 日本大学法学部 バイオ医薬品に係る特許出願の国際比較	2F8 竹山 宏明 日本弁理士会知的財産価値評価推進センター パテントプールにおける必須特許に対する重み付けを用いた評価について	2G8 竹山 宏明 日本弁理士会知的財産価値評価推進センター メタバースにおける知的財産の保護(1)	2H8 矢野 隆志 東京理科大学専門職大学院総合科学技術経営研究科知的財産戦略専攻 メタバースにおける知的財産の保護(1)	2I8 小園 泰弘 弁理士クラブ知的財産実務研究所 弁理士クラブ知的財産実務研究所における判例研究活動と最近の重要判例の紹介	2J8 関根 繁樹 あずさ監査法人 ソフトウェアライセンスの種類の多様化	15.30	2B9 服部 耕市 村瀬特許事務所 アイデアのフリーライド対策に関する一考察	2C9 菟原 裕明 前福岡県立小倉工業高等学校 体験的学習・創造性学習を取り入れた知的財産教育の体系化と系統化の研究	2D9 森 康晃 早稲田大学創造理工学部 技術標準化阻害行為に對する対処法の検討	2E9 佐藤 智文 知的財産研究会IP Lounge / 東京理科大学専門職大学院MIP 日本弁理士会の知財人材育成の支援活動紹介	2F9 小泉 雅裕 日本弁理士会 研究開発無形資産の価値関連性分析	2G9 眞田 久雄 デジタルアーツ株式会社 知識スループットに視点を据えた首善技術の構造変遷に関する分析	2H9 柴田 洋輔 東京工業大学 イノベーションマネジメント研究科 言語学的アプローチによる特許文書の構造化-格文法とPCM(請求項記述言語)の融合	2I9 赤間 淳一 デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社 片岡敏光、安藤元、久野敦司、Alan Engel	2J9 小林 憲人 東京理科大学知財専門職大学院 地域社会の活性化 ~NPMと知的財産政策の融合~	16.00	2A10 清水 利明 東京理科大学総合科学技術経営研究科 知的財産戦略専攻 著作権のライセンス保護と特許権存続期間延長制度に関する一考察	2B10 石川 愛子 東京理科大学専門職大学院 総合科学技術経営研究科 知的財産戦略専攻 日米欧における医薬品の特許権存続期間延長制度に関する一考察	2C10 渡部 順一 東北工業大学 ライフサイエンス学部 「産業財産権標準テキスト」の有効活用に関する実験「協力校」への国立高専の取り組みと課題	2D10 大野 一生 (財)国際メディア研究財団 韓国の大学における知財管理とライセンス契約-ソウル大学のケース-	2E10 Tae Hoon Noh (韓宗勲) 韓国 ソウル大学校 Kug Sun Hong, Seo-Yong Cho, HyeYune Choi	2F10 加藤 浩一郎 金沢工業大学大学院工学研究科知的創造システム専攻 戦略的知的財産マネジメント人材の育成に関する調査研究	2G10 藤井 敏史 デュボン株式会社 企業内業務に資する知財の価値判断手法の検討	2H10 深山 潤一 東京理科大学総合科学技術経営研究科知的財産戦略専攻 日本におけるオープン・イノベーションの動き	2I10 野崎 篤志 日本技術貿易株式会社IP総研 特許情報に関する事例研究~日立化成工業・リチウムイオン電池負極材料~	2J10 島貫 誠也 東京工業大学 大学院イノベーションマネジメント科 佐伯とも子	16.20	2A11 生越 由美 東京理科大学 専門職大学院 原産地呼称及び地理的表示の保護制度の課題	2B11 蕭 斐雅 東京工業大学イノベーション・シナリオ研究科 中国における知財教育の普及-日本語教育を媒介として	2C11 谷口 恵 大連軟件園股份有限公司 中国における知財教育の普及-日本語教育を媒介として	2D11 関根 繁樹 政策研究大学院大学 業種に著目した産学連携の実証分析	2E11 ジョン・ウオンギ(鄭元基) 東京理科大学 日韓の進歩性適用の比較研究	2F11 川原 英昭 大阪工業大学 知的財産学部 知的財産専門職のキャリア分析	2G11 綾木 健一郎 富士フィルム株式会社 知財技術部 特許流通のための「出願後のリスク」を考慮した「特許価値」の算出	2H11 井田 聡子 (財)医療科学研究所 日本の医薬品市場における企業間の距離の計測	2I11 野崎 篤志 日本技術貿易株式会社IP総研 トポフォリオ分析(第2報: クラスタリング結果詳細)	2J11 大塚 篤 東京大学 知的財産経営総括寄付講座 特許出願における発明者間の技術距離	16.40	2A12 石井 茂樹 日本弁理士会 歴史上の人物名の登録性	2B12 川上 正隆 青山学院大学大学院ビジネス法務専攻 侵害を受けた営業秘密の有用性判断について	2C12 陳 愛華 重慶大学 中国での知財人材育成・知財教育の状況	2D12 齋藤 裕美 政策研究大学院大学 地域に著目した産学連携の実証分析	2E12 長谷川 和宏 株式会社リハブス 「サイエンスコミュニケーション」育成講座「7年間の歩みと成果	2F12 大河原 敏男 有限会社 スマートタグ 知的成果物としての特許発明の価値評価理論モデル	2G12 金間 大介 文部科学省科学技術政策研究科 大学関連特許の経過情報分析と潜在的コミュニケーション	2H12 鈴木 慎嗣 日本技術貿易株式会社IP総研 BRICs及び新興国における特許情報整備の現状	2I12 伊藤 寿 大岩 靖典 京沢工業大学大学院工学研究科知的創造システム専攻	2J12 小出 実 北陸先端科学技術大学院大学 知識科学研究科 特許データによる研究開発の技術知識に関するイノベーションの研究	17.00	2A13 辻本 ショーン 参議院議員藤本健三事務所 日本と米国のRTAにおける知的財産条項の位置付け	2B13 樹田 祥子 新潟大学 社会連携研究センター 特許権存続期間延長登録出願制度の課題	2C13 松原 幸夫 新潟大学 社会連携研究センター フードサイエンス分野における発明創造技法の活用	2D13 白石 昇央 ミドリ安全株式会社Group 日本のイノベーション政策と「産学連携」における新たな視点と方策- JASPA 創設によるIPマーケットプレイスの構築に向けて-	2E13 中島 淳 太陽国際特許事務所 特許明細書作成における知財専門家としてのスキル	2F13 萩原 豊 (財)電力中央研究所 知的財産センター 知的資産としての研究成果の価値評価マニュアル-その概要と活用	2G13 村上 忠良 根本宏史、金子由美	2H13 中根 寿浩 日本技術貿易株式会社IP総研 特許発明者情報を利用した企業分析	2I13 大岩 靖典 京沢工業大学大学院工学研究科知的創造システム専攻	2J13 加藤浩一郎	17.20	2A14 吉田 尚美 日本弁理士会バイオ・ライフサイエンス委員会 バイオ・医薬関連発明の記載要件	2B14 石川 愛子 東京理科大学専門職大学院 総合科学技術経営研究科 知的財産戦略専攻 日米欧における医薬品の特許権存続期間延長制度に関する一考察	2C14 渡部 順一 東北工業大学 ライフサイエンス学部 「産業財産権標準テキスト」の有効活用に関する実験「協力校」への国立高専の取り組みと課題	2D14 大野 一生 (財)国際メディア研究財団 韓国の大学における知財管理とライセンス契約-ソウル大学のケース-	2E14 Tae Hoon Noh (韓宗勲) 韓国 ソウル大学校 Kug Sun Hong, Seo-Yong Cho, HyeYune Choi	2F14 加藤 浩一郎 金沢工業大学大学院工学研究科知的創造システム専攻 戦略的知的財産マネジメント人材の育成に関する調査研究	2G14 藤井 敏史 デュボン株式会社 企業内業務に資する知財の価値判断手法の検討	2H14 深山 潤一 東京理科大学総合科学技術経営研究科知的財産戦略専攻 日本におけるオープン・イノベーションの動き	2I14 野崎 篤志 日本技術貿易株式会社IP総研 トポフォリオ分析(第2報: クラスタリング結果詳細)	2J14 島貫 誠也 東京工業大学 大学院イノベーションマネジメント科 佐伯とも子